



平成 20 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 アールピバン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野澤 克巳  
問合せ先 管理部総務グループ 柴田 航  
電話番号 03 - 5159 - 7177  
(コード番号 7523 JASDAQ )

### 平成 20 年 3 月期(連結・個別)業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 19 年 11 月 20 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想の修正及び特別損失の発生について下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正等(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	8,700	710	770	240
今回予想(B)	8,270	430	430	310
増減額(B-A)	430	280	340	550
増減率	4.9%	39.4%	44.2%	-
[参考]前期実績 (平成 19 年 3 月期)	9,449	523	663	791

#### 2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想の修正等(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	3,430	240	80	370
今回予想(B)	3,300	240	140	900
増減額(B-A)	130	0	60	530
増減率	3.8%	-	-	-
[参考]前期実績 (平成 19 年 3 月期)	4,468	376	150	1,682

### 3. 特別損失の発生及びその内容

#### 貸倒引当金繰入額の計上

当期の個別決算において連結子会社タラサ志摩スパアンドリゾート株式会社の財政状態が悪化したことにより、関係会社貸付金に対して貸倒引当金繰入額 408 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

#### 減損損失の計上

当期の個別の営業損益が2期連続赤字となり、翌期もこの厳しい状態が継続すると判断しアート関連事業の物流センター及び本社設備等について減損損失 292 百万円、連結決算において 308 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

#### 投資有価証券評価損の計上

当期の個別及び連結決算において保有する株式のうち、時価が取得価額に比べ 50%程度下落したもののについて、減損処理を行い投資有価証券評価損 56 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

### 4. 修正理由

#### (1) 連結業績

売上高につきましては、アート関連事業では当社の主力である『スタンダードアート』の販売が依然として低調だった事、リゾート事業では客室稼働率の低下による宿泊収入・料飲収入が伸び悩んだ事、また、健康産業事業では会員獲得数が当初計画に届かなかった事もあり前回予想を 430 百万円下回る 8,270 百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては売上の減少分を広告宣伝費等変動費の削減や事業所閉鎖による賃借料等の固定費圧縮に努めたものの、前回予想を 280 百万円下回る 430 百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、クーポンスワップによる為替差損 89 百万円の計上等もあり前回予想を 340 百万円下回る 430 百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、アート関連事業の物流センター及び本社設備等の減損損失 292 百万円や投資有価証券評価損 56 百万円の計上等もあり、前回予想を 550 百万円下回る 310 百万円となる見込みであります。

#### (2) 個別業績

売上高につきましては、アート関連事業における『スタンダードアート』の販売が依然として低調だった事により前回予想を 130 百万円下回る 3,300 百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、上記連結業績修正理由によるものであり、前回予想を 60 百万円下回る 140 百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上記連結業績修正理由に加え、関係会社の財政状態が悪化したことにより、関係会社貸付金に対して貸倒引当金繰入額 408 百万円を計上したことにより前回予想を 530 百万円下回る 900 百万円となる見込みであります。

なお、平成 21 年 3 月期の通期連結業績予想数値につきましては、平成 20 年 5 月 21 日に予定しております平成 20 年 3 月期決算発表時にお知らせいたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上